

令和5年度 市民の声一覧(上半期公表用)

受付日	区分	件名	市民の声	回答(対応)内容	担当課
7月	健康・医療・衛生	ワクチン接種予約システムについて	このたび個人で5回目の新型コロナワクチン接種の申し込みを行い、本日(7/18)に予診票が届きました。 接種予約をするため、指定通りにQRコードを読み込み、病院を指定して予約を進めたところ、第1希望から第3希望まで選択するように指示されますが、選択できるのは1週間後の水曜日の1枠のみでした。 仕方がないので第2希望も同じ枠を選ぶと、重複しているとアラートが出て進みません。そこで第2希望以下を空白のまま進めてみたら、予約は可能でした。 第2、第3希望を選ぶ必要がないなら、それがわかる文言に変更された方が良いと思います。中には戸惑う人も多いかと推察します。 第2、第3希望で別の病院を選択可能にするのは、より手間がかかると思います。9月以降に接種対象が拡大する予定だと思いますので、報告いたします。	この度は新型コロナワクチン接種のウェブ予約についてご意見をいただきありがとうございます。このウェブ予約は、予約申込日の8日以降の日から接種予約が可能となっており、ご希望されるひとつの接種会場において、接種希望日時を第3希望まで(第1希望のみでも可)選択することができます。 しかしながら、予約枠は各接種会場との調整が整い次第順次オープンしており、予約申込日時点において予約枠がなければ第3希望まで選択できない場合があります。 今回、予約システム上での説明が不十分であり、「第1希望のみの選択でも可」ということが伝わらず〇〇様にはご不便をお掛けし申し訳ございませんでした。 今後、いただいたご意見を踏まえ、伝わりやすい説明に変更する等、予約システムの改善に努めてまいります。	地域保健課
8月	健康・医療・衛生	带状疱疹予防接種助成について	最近50歳以上は带状疱疹予防接種を受けてくださいというCMをよく見ます。 接種費用が高額のため、接種費用の一部助成金が出るという自治体も多くありますが、高知県や高知市ではそういう助成金の実施を行う予定とありますか。	近年、带状疱疹のお問い合わせはたくさんいただいておりますが、高知市では、带状疱疹予防接種の助成は現在ありません。 成人の方で予防接種法で定期接種として公費支援のあるものは、現在、季節性インフルエンザと高齢者肺炎球菌の二つです。 また、高知県内でもほとんどの自治体で助成制度はない状況です。	地域保健課
4月	健康・医療・衛生	乳児一般健康診査受診票について	母子手帳交付時に、数枚綴のいろんな受診票をいただき、その中に乳児一般健康診査受診票がありました。 昨年末に出産して、早速乳児検診の受診票を使用させていただきました。その中の質問項目に、男女共同参画の観点から疑問に思うものがありました。 具体的に申し上げます。 「育児について相談できる人はいますか」「育児を手伝ってくれる人はいますか」この二つの質問の選択肢「はい」には、配偶者・実母・義母と続いています。 こちらに関して、二つ疑問を感じました。 一つ目は、実母と義母は書かれているのに、実父と義父が書かれていないことです。実の親・義理の親、と言う書き方でも良いのに、わざわざ実母・義母と書く事で、育児は母親のするものだという高知市のジェンダーバイアスが感じられます。 また、私の場合実母はおらず、実父に育児の相談をしています。現在の記述では、実の父親が育児から排除されているとも感じ、寂しく思いました。 二つ目は、「育児を手伝ってくれる人はいますか」についての質問の選択肢に、配偶者があることです。手伝うという言葉には、自分の担当ではない仕事を助けるというニュアンスがあると思います。 言わずもがな、配偶者は育児の当事者です。手伝ってくれる、手伝ってもらうという感覚はありません。 この質問からも、育児の主担当は母親で、配偶者はお手伝いという意識が感じられます。 この質問は、「あなた以外に育児を担当する人はいますか」などの言い換えをした方がいいのではないかと思います。 疑問点は以上です。受診票にあるこれらの記述には、「育児は母親のするもの」というアンコンシャスバイアスがあると思います。 検診の受診票も市として発信する媒体の一つだと思うので、今のままでは、「育児は母親がするもの」というメッセージを高知市が発信していると感じてしまいます。 ジェンダーによる固定的な役割分担意識にとらわれず、男女が協力して育児を行っていくことは、大切なことだと思います。 受診票の質問一つからしても、子育てには男女問わず関わっていきましょうという気持ちが見えるようになるといいと思いますし、こういうポジティブなメッセージが自分の住む市から発信されると嬉しく思います。	ご意見をいただきました2点につきましては、本市の「男女共同参画プラン」における取り組みと相反した表記のままになっておりましたこと、〇〇様に寂しい思いをおかけしましたことに対しまして深くお詫び申し上げます。 「乳児一般健康診査受診票」につきましては、今後、改善してまいりますとともに、子育てには男女を問わず関わっていきましょうという気持ちを汲んでいただけることが出来るよう、また、多様な性の尊重と固定的な役割分担意識の解消に繋げていくことが出来るよう、今後とも一層の広報・啓発活動に努めてまいります。 今回、〇〇様からいただきました貴重なご意見を含めまして、母子保健事業全体で必要な改善に努めてまいりたいと思いますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。	母子保健課